

# 純正 CD / DVD プレーヤー





## 取扱説明書

この度はマツダ純正 CD / DVD プレーヤーをお買い上げいただきましてありがとうございます。

常に最良の状態でご使用いただくために、ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

### <ご注意とお願い>

- 本取扱説明書に記載されていない使用方法は絶対に行わないでください。
  - 本商品の取扱い内容につきましてご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
  - 記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  - 本取扱説明書は、ご使用都度確認いただけますように、必ず保管してください。
  - お車を売却または譲渡される場合は、本装置が取付けられていることを売却先または譲渡先へお伝えください。
  - グレードの仕様により異なる装備については「グレード / 仕様別装備」をつけています。
  - マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本説明書に示されている **⚠警告** マークと **⚠注意** マークは、取扱いに関する安全上の事項ですので必ず厳守してください。

 <b>警告</b>	警告事項をお守りいただかないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。
 <b>注意</b>	注意事項をお守りいただかないと事故やケガ、車の損傷につながるおそれがあります。
 <b>知識</b>	お車を使う上で知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことです。
	イラストで表現している内容の禁止を意味しています。

- 仕様変更などにより、本書の内容の一部がお車と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



# MEMO

# 目次

---

概要

1

---

基本機能

2

# 詳細目次

## 1 概要

### 基本操作 1-2

- 基本操作..... 1-2
- コマンダースイッチによる操作..... 1-3
- オーディオリモートコントロール  
スイッチによる操作..... 1-6
- 音声認識機能による操作..... 1-8
- マツダコネクトをご使用の前に..... 1-12

## 2 基本機能

### オーディオ 2-2

- CD..... 2-15
- DVD..... 2-22

### 設定 2-32

- 設定..... 2-32
- システム..... 2-33

# 1

## 概要

<b>基本操作.....</b>	<b>1-2</b>
基本操作.....	1-2
コマンダースイッチによる操作.....	1-3
オーディオリモートコントロール スイッチによる操作.....	1-6
音声認識機能による操作.....	1-8
マツダコネクトをご使用の前に.....	1-12

 **警告**

オーディオは、車を止めてから操作する。  
走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意**

安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

## 基本操作

 **知識**

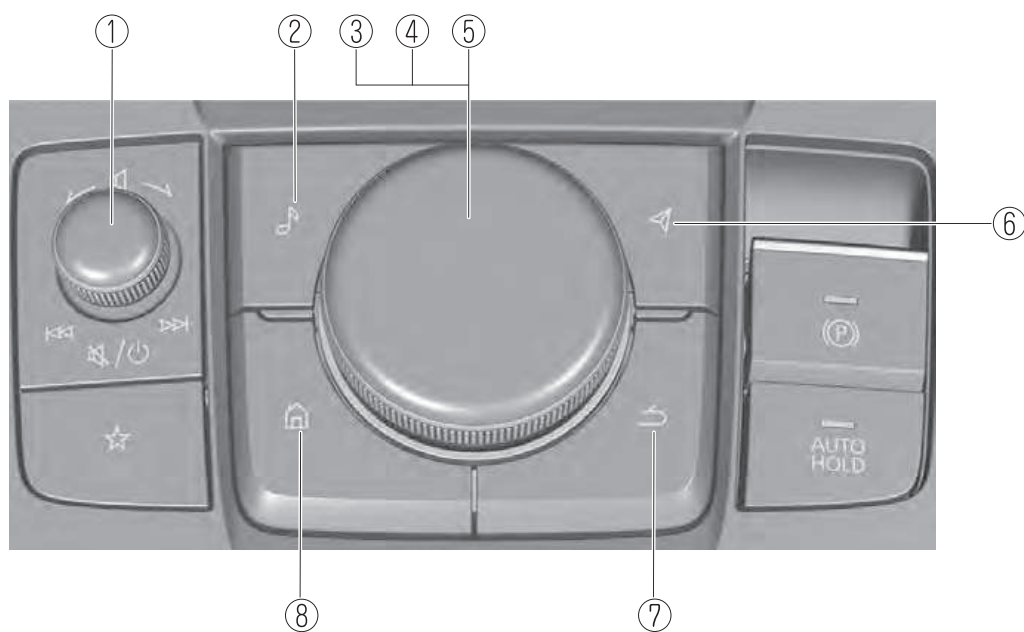
本書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。  
また、これらのコンテンツは、今後のソフトウェアアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

## コマンダースイッチによる操作



各画面へのスイッチ操作と、コマンダー操作ができます。  
コマンダースイッチに包み込むように持つと各画面へのスイッチに指がかかります。  
手元を見なくても、各画面に切り替えることができます。



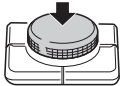
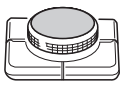



### 知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。



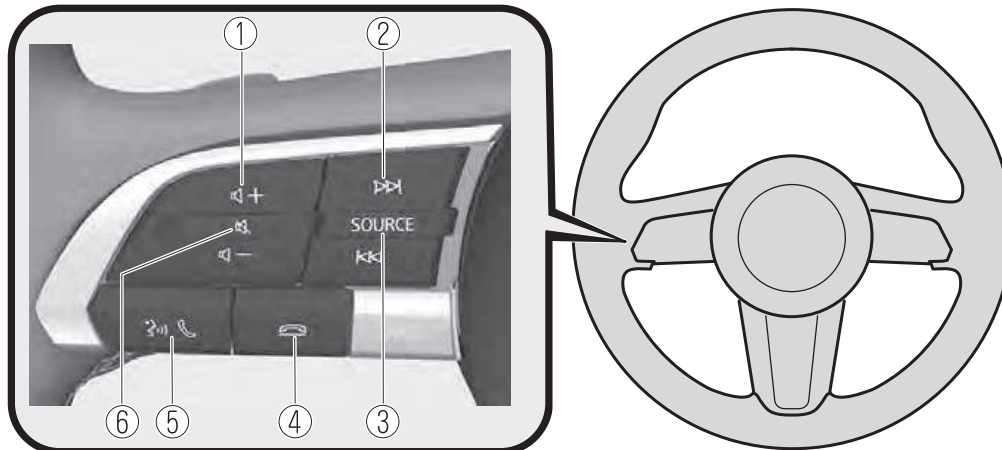
スイッチの形状は仕様により異なります。

No.	アイテム	説明
1		<p><b>音量ノブ:</b></p> <p><b>音量調節</b></p> <p>音量ノブをまわして音量を調節します。 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。 ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更となります。 音量ノブを押すと消音できます。もう一度音量ノブを押すと、消音が解除されます。</p> <p><b>電源 OFF/ON</b></p> <p>長押しすると、マツダコネクットの電源が OFF になり、画面が消えます。 もう一度長押しすると、マツダコネクットの電源が ON になります。</p> <p> <b>知識</b></p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"><p>Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中に音量ノブを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度音量ノブを押すと消音が解除され、同時に一時停止も解除されます。</p></div> <p><b>選局</b></p> <p><b>(FM/AM*ラジオ)</b></p> <p>FM/AM*ラジオを聞いているときに音量ノブを左右にスライドさせて、お気に入りの登録している放送局を呼び出すことができます。放送局は、音量ノブをスライドさせるたびに切り替わります。また、ピッと音がするまで長押しすると自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。</p> <p><b>(テレビ)*</b></p> <p>テレビを視聴しているときに音量ノブを左右にスライドさせて、チャンネルリスト順に放送局を呼び出すことができます。放送局は、音量ノブをスライドさせるたびに切り替わります。</p> <p><b>頭出し</b></p> <p>オーディオやビデオを再生中にボタンを操作すると、曲やビデオファイルの頭出しをすることができます。 音量ノブを右にスライドさせると次の曲の頭に進み、左にスライドさせると前の曲の頭に戻ります (曲順は選択しているファイルリスト順です)。</p>

No.	アイテム	説明
2		<p><b>オーディオボタン:</b> 最後に再生されたオーディオソース画面が表示されます。</p> <p><b>(Apple CarPlay/Android Auto™音楽再生中)</b> Apple CarPlay/Android Auto™の再生画面を表示します。</p>
3		<p><b>コマンダーノブ (選択):</b> コマンダーノブをまわす、または、スライドさせて使いたい機能を選択します。</p>
4		<p><b>コマンダーノブ (決定):</b> コマンダーノブを押して使いたい機能を決定します。</p>
5		<p><b>タッチパッド (選択):</b> 文字入力画面とナビゲーションシステムの地図上の移動、拡大、縮小に使用できます。</p>
6		<p><b>マップボタン:</b> ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。 ナビゲーションシステムを機能させるには、ナビゲーションシステム用 SD カードが必要となります。 ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。 ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。</p> <p><b>(Apple CarPlay/Android Auto™ルート案内中)</b> Apple CarPlay/Android Auto™のマップ画面を表示します。</p>
7		<p><b>バックボタン:</b> 前の画面に戻ります。</p>
8		<p><b>ホームボタン:</b> ホーム画面を表示します。</p> <p><b>(Apple CarPlay/Android Auto™表示中)</b> Apple CarPlay/Android Auto™のホーム画面を表示します。</p> <p><b>(Apple CarPlay/Android Auto™接続中)</b> マツダコネクットの画面を表示しているときに長押しすると、Apple CarPlay または Android Auto™の画面に切り替わります。また Apple CarPlay または Android Auto™の画面を表示しているときに長押しすると、マツダコネクットの画面に切り替わります。</p>

## オーディオリモートコントロールスイッチによる操作

ハンドルの左側にあります。手元でオーディオの操作ができます。



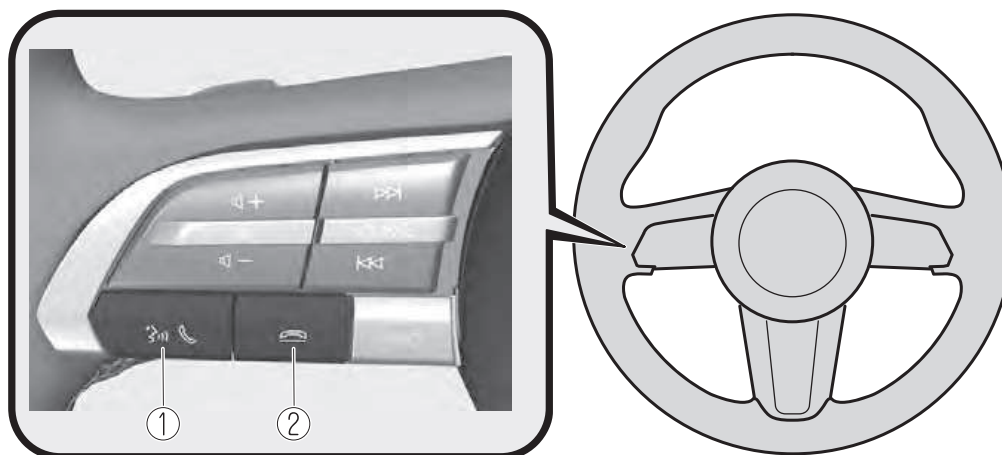
スイッチの形状は仕様により異なります。

No.	アイテム	説明
1		<p><b>音量調節ボタン:</b></p> <p>+、-ボタンを操作して、音量を調節します。 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。 ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更になります。</p>
2		<p><b>選局ボタン:</b></p> <p><b>選局</b></p> <p><b>(FM/AM*ラジオ)</b> FM/AM*ラジオを聞いているときにボタンを押して、お気に入りに登録している放送局を呼び出すことができます。放送局は、ボタンを押すたびに切り替わります。 また、ピッと音がするまで長押しすると自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。</p> <p><b>(テレビ)*</b> テレビを視聴しているときにボタンを押して、チャンネルリスト順に放送局を呼び出すことができます。放送局は、ボタンを押すたび切り替わります。</p> <p><b>頭出し</b></p> <p>オーディオやビデオを再生中にボタンを操作すると、曲やビデオファイルの頭出しをすることができます。 を押すと次の曲の頭に進み、を押すと前の曲の頭に戻ります (曲順は選択しているファイルリスト順です)。</p>

No.	アイテム	説明
3	SOURCE	<p><b>ソースボタン:</b> ボタンを押すごとにオーディオのソースを切り替えることができます。 また、長押しすると再生中のオーディオが OFF になり、オーディオソースの選択画面を表示します。</p> <p><b>(Apple CarPlay/Android Auto™再生時)</b> ボタンを長押しすると再生中のオーディオが OFF になります。</p>
4		<p><b>ハングアップボタン*1:</b> (通話中) ボタンを押すと、通話を終了します。</p> <p>(電話を着信中) ボタンを押すと、応答保留になります。</p>
5		<p><b>トーク/ピックアップボタン*1:</b> (電話を着信中) ボタンを押すと、電話に応答します。</p>
6		<p><b>ミュートボタン:</b> ボタンを押すと消音します。 もう一度押すと、消音が解除されます。</p> <p> <b>知識</b></p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>Apple CarPlay、USB オーディオ、Bluetooth®オーディオなど一時停止が可能なオーディオソースを再生中にミュートボタンを押して消音すると、音楽は一時停止します。もう一度ミュートボタンを押すと消音解除され、同時に一時停止も解除されます。</p> </div>

\*1 トーク/ピックアップボタンとハングアップボタンは音声認識の操作でも使用します。

## 音声認識機能による操作



スイッチの形状は仕様により異なります。

No.	アイテム	説明
1		<b>トーク/ピックアップボタン:</b> ボタンを押すと音声認識のトップ画面が表示され、音声認識が起動します。  (音声ガイドが流れているとき) ボタンを押すと、音声ガイドをスキップできます。
2		<b>ハングアップボタン:</b> ボタンを押すと、音声認識が終了します。

### 音声認識の起動

オーディオリモートコントロールスイッチのトーク/ピックアップボタンを押すと、音声認識のトップ画面が表示されます。

### 知識

Apple CarPlay または Android Auto™を接続中は、マツダコネクットの音声認識は起動せず、Siri または Android Auto™の音声認識が起動します。

### 常に使用できるコマンド

「ヘルプ」 - 使用可能な音声コマンドを確認できます。

「戻る」 - 前の画面に戻ります。電話番号、または住所入力画面で発話したときは、直前に入力した内容を削除します。

「キャンセル」 - 音声認識が終了します。

### マツダコネクットの操作方法を知りたいとき

「操作ガイド」 - 操作ガイドの画面が表示されます。

## 音声認識を終了する

次の操作のいずれかを行ないます:

- ・ ハングアップボタンを押す。
- ・ トーク/ピックアップボタンを長押しする。
- ・ 発話: 「キャンセル」

## 音声認識機能の便利な使いかた

音声認識のトップ画面では、それぞれのカテゴリーにおいて有効な音声コマンドの例がディスプレイに表示されます。

使用できる音声コマンドをあらかじめ知っておくと便利です。

カテゴリー	コマンド例
すべて	"連絡先でかける<連絡先>の<電話種別>"
ナビゲーション	"リダイヤル"
オーディオ	"電話番号でかける<電話番号>"
コミュニケーション	"自宅に帰る"
操作ガイド	"近くで探す<ジャンル名>"

いつでも使用可能なコマンド "ヘルプ" "戻る" "キャンセル"

## 知識

- ・ 本書に記載しているコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。仕様により使用できないコマンドもあります。
- ・ 機器の接続状況や使用状況によっては、使用できないコマンドがあります。
- ・ バージインの設定が ON のときは、音声ガイダンスが流れている間でも音声コマンドを発話して操作することができます。
- ・ ナビゲーション画面で使用できる音声コマンドの詳細は、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください:

- ・ Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- ・ 少し大きめの声で発話すると認識されやすくなりますが、過度に大声を出す必要はありません。同乗者に話しかけるよりも少し大きめの声が目安です。
- ・ 必要以上にゆっくりしゃべらず、通常話す時の速さで発話してください。
- ・ 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼びだすことができません。
- ・ 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼びだす場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します(「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗する場合があります)。
- ・ 単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- ・ 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- ・ マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。
- ・ Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、窓とサンルーフを閉めてください。窓またはサンルーフが開いていると、車外の雑音やエアコンの気流の乱れにより、音声为正しく認識されないことがあります。

- ・エアコンの風がマイクに当たっていないことを確認してください。
- ・音声ガイダンス中に音声コマンドを発話するときは、少し大きめの声で発話してください。ただし過度に大声を出す必要はありません。
- ・ガイダンス音量を大音量に設定すると、音声为正しく認識されないことがあります。その場合は、バーズインの設定を OFF にしてください。

### **音声認識機能に対応しているコマンドの一例**

{ }内には、指定する名前や数字が入ります。

#### **共通**

- ・戻る
- ・ヘルプ (画面ごとのヘルプガイダンスを聞くことができます。)
- ・ {行番号} (画面の何番目かを選択できます。)
- ・ 次のページ
- ・ 前のページ
- ・ キャンセル

#### **メニュー**

- ・ すべて
- ・ ナビゲーション
- ・ オーディオ
- ・ コミュニケーション
- ・ 操作ガイド (取扱説明書の音声認識ページが表示できます。)

#### **設定**

- ・ 音声認識設定画面
- ・ 操作ガイド (取扱説明書の音声認識ページが表示できます。)
- ・ ディスプレイ OFF

#### **音楽**

- ・ アーティストで再生 (“アーティストで再生 {アーティスト名}” も利用できます。)
- ・ アルバムで再生 (“アルバムで再生 {アルバム名}” も利用できます。)
- ・ プレイリストで再生 (“プレイリストで再生 {プレイリスト名}” も利用できます。)
- ・ 曲で再生 (“曲で再生 {曲名}” も利用できます。)
- ・ オーディオブックで再生 (“オーディオブックで再生 {オーディオブック名}” も利用できます。)
- ・ ポッドキャストで再生 (“ポッドキャストで再生 {ポッドキャスト名}” も利用できます。)

#### **ラジオ**

- ・ {AM 放送局名}\*  
・ {FM 放送局名}

#### **ソース**

- ・ オーディオ切替え (“オーディオ切替え USB”<sup>\*1</sup> や “USB”<sup>\*1</sup> も利用できます。)
- ・ オーディオ OFF (“オーディオ切替え オーディオ OFF” も利用できます。)

## 電話

- ・ 電話番号でかける (“電話番号でかける {電話番号}” も利用できます。)
  - ・ 電話履歴
  - ・ 連絡先でかける (“連絡先でかける {連絡先}”や“連絡先でかける {連絡先}の{番号種別}” も利用できます。)
  - ・ リダイヤル
- \*1 : “USB”以外にも次のオーディオソース名が利用できます: Bluetooth/交通情報\*/AM\*/FM/Disc\*/USB1 Audio/USB2 Audio/USB1 Video/USB2 Video/メモリーオーディオ\*/TV/HDMI

## マツダコネクトをご使用の前に

### Gracenote® データベース

音楽 CD を再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトル、アルバムアートを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します (MP3/WMA/AAC CD や USB オーディオ、Bluetooth®オーディオを再生した場合はアルバムアートのみ)。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

### テレビ

- ・ Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



# 2

## 基本機能

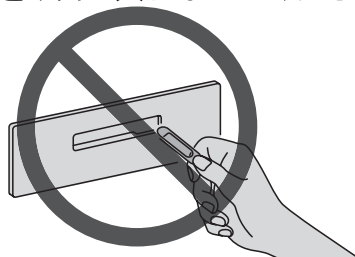
オーディオ.....	2-2
CD*	2-15
DVD*	2-22
設定.....	2-32
設定.....	2-32
システム.....	2-33

## オーディオ

オーディオ機器に液体をかけないでください。



ディスク以外のものを、ディスク差し込み口に入れないでください。



### CD について

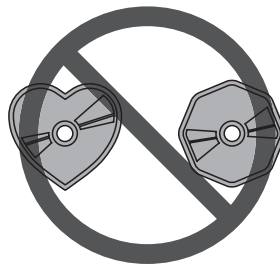
本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。  
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

市販ディスク		
記録されたディスク		
		

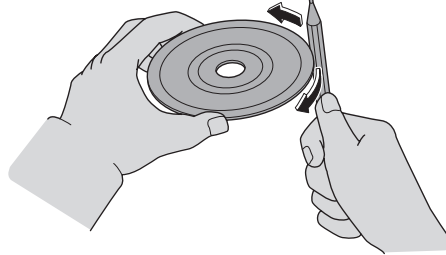
MP3/WMA/AAC CD として、ディスクに記録し再生可能なデータは次の通りです。  
**MP3、WMA、AAC**

 知識

- ・一枚のディスクに音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC ファイルが混在しているときは、ディスクに記録する方法によって再生される内容が異なります。
- ・データ規格の詳細については、「再生可能なオーディオファイルについて」をご参照ください。
- ・コピーコントロール CD (著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽 CD) の中で、CD の規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。
- ・ハート型や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- ・新しい CD は、外周部や中心の穴のまわりが荒らくなっている場合があります。そのような場合は、ボールペンや鉛筆などであらい部分 (バリ) を取り除いてから使用してください。そのまま使用すると音飛びを起こしたり、CD を挿入できないことがあります。








- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- ・本機内部のレンズの汚れなどにより、CD が正しく作動しなくなることがあります。
- ・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- ・正しい方法で作製されたディスクを使用してください。海賊版など、作製違反のディスクを使用すると、正常に作動しない場合があります。
- ・CD 信号面に直接手で触れると、CD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CD の端と中心の穴をはさんで持ってください。CD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- ・CD の汚れを取るときは、やわらかい布で CD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- ・文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・変形したり、ひびがはいったりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・セロハンテープやレンタル CD のラベルからのりがはみ出したものや、ラベルをはがしたあとがある CD は、使用しないでください。また、市販の CD-R ラベルを貼り付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・クリーニング・ディスクを CD プレーヤーに挿入しないでください。
- ・CD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・CD-R/CD-RW は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

 知識

- ・ ファイナライズ処理 (通常の CD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない CD-R/CD-RW は再生できません。
- ・ 700MB を超える CD-R/CD-RW の再生はできません。
- ・ 音楽用 CD レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW は、ディスクの特性、キズ・汚れなどにより、本機では再生できない場合があります。
- ・ パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ・ CD-R/CD-RW に記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ (CD-DA) 再生時に表示できない場合があります。
- ・ CD-RW は、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。
- ・ CD-R/CD-RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。  
→2-15 ページ「CD」

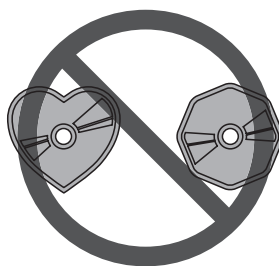
## DVD について

本機で利用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。  
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

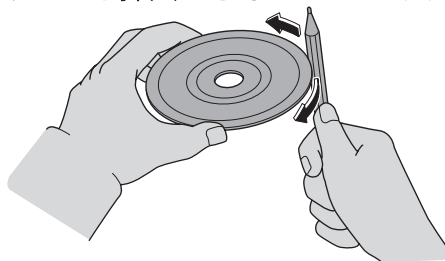
市販ディスク	 
記録されたディスク	  

## 知識

- ・本機は、CPRM (Content Protection for Recordable Media) に対応しています。
- ・本機が対応している地域番号は「2」です。地域によって、再生可能な地域番号が決められており、地域番号に対応しているディスクのみ再生できます。
- ・記載している規格以外で書き込まれた DVD-Video/DVD-VR ファイルは、再生できなったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。
- ・DVD-VR ファイルは、メニューが表示されません。
- ・ハート型や八角形など特殊形状の DVD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- ・新しい DVD は、外周部や中心の穴のまわりが荒らくなっている場合があります。そのような場合は、ボールペンや鉛筆などであらい部分 (バリ) を取り除いてから使用してください。そのまま使用すると音飛びを起こしたり、DVD を挿入できないことがあります。




- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。



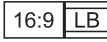



## 知識

- ・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、DVDを取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- ・正しい方法で作製されたディスクを使用してください。海賊版等、作製違反のディスクを使用すると、正常に作動しない場合があります。
- ・DVD信号面に直接手で触れると、DVDの信号面が汚れ、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。DVDの端と中心の穴をはさんで持ってください。
- ・DVDはケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- ・DVDの汚れを取るときは、やわらかい布でDVDの中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、DVDの表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- ・文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりしたDVDは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・変形したり、ひびがはいったりしたDVDは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・セロハンテープやレンタルDVDのラベルからのりがはみ出していたり、ラベルをはがしたりしたあとがあるDVDは、使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・クリーニング・ディスクをDVDプレーヤーに挿入しないでください。
- ・DVD差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWは、録画に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ・ファイナライズ処理(通常のDVDプレーヤーで再生できるようにする処理)されていないDVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWは再生できません。
- ・音楽用DVDレコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWは、ディスクの特性、キズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーション(ライティングソフト)の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ・DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ・DVDビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。このDVDプレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせて参照してください。

### ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC	カラーテレビの方式です。
	音声のトラック数です。数字が収録されている音声数を表します。

マーク		意味
		字幕の言語数です。 数字が収録されている言語数を表します。
		アングルの数です。 数字が収録されているアングル数を表します。
		選択することができる画面モードです。 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
		再生可能な地域番号です。ALL は全世界向け、「2」は日本向けを表します。

## 正しく DVD をご利用いただくために（用語の解説）

### DVD-Video

DVD-Video は、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである MPEG2 (エムペグ 2) が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

### DVD-VR

DVD-VR は、DVD Video Recording Format の略称で、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

### マルチアングル

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル (カメラの位置) で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

### マルチランゲージ (多言語)

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

### 地域番号 (リージョンコード)

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョンコード) が設けられています。再生させるディスクの地域番号が、プレーヤーに設定されている地域番号と異なる場合は、ディスクの再生はできません。また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。  
→2-22 ページ「DVD」

## Gracernote®音楽認識サービスについて

### 知識

- ・「Gracernote®音楽認識サービス」によって提供されるデータは、100%内容を保証しているものではありません。
- ・USB メモリを使用して Gracernote®音楽データベースを更新することができます。  
→2-33 ページ「システム」
- ・本機では、Gracernote®音楽認識サービスは CD、USB オーディオ、メモリーオーディオ、および Bluetooth®オーディオに対応しています。

## 再生可能なオーディオファイルについて

### 注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	C D	D V D
MP3	MPEG-1 Layer 3	32 - 320 kbps	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	○	○
	MPEG-2 Layer 3	8 - 160 kbps	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz		
WMA	WMA Ver7	48 - 192 kbps	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	○	○
	WMA Ver8				
	WMA Ver9	48 - 320 kbps			
	WMA Ver9.1				
	WMA Ver9.2				

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	C D	D V D
AAC	MPEG-2 Part 7	8 - 320 kbps	11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	○	○
	MPEG-4 Part 3				
	HE-AAC				
	AACPlus v2 / eAAC+				
MP4	MPEG-2 Part 7				
	MPEG-4 Part 3				
	MPEG-1 Layer 3				
	MPEG-2 Layer 3				
	ALAC			—	—
3GPP	MPEG-4 AAC-LC				
	HE-AAC				
	AACPlus v2 / eAAC+				
WAV	LPCM	—	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz	—	—
FLAC	FLAC	—	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	—	—
OGG	Vorbis	32 - 500 kbps	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz	—	—
	FLAC	—	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz		

○: 可能  
—: 不可能

## MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。

本機は、拡張子 (.mp3) がついているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

## WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。

- \* Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

## AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.aac) がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

- ・記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかつたりする場合があります。

## WAV について

WAV とは、RIFF waveform Audio Format の略称で、Microsoft と IBM によって開発された音声圧縮の規格です。

本機では PCM (パルス符号変調) 形式で記録された、拡張子 (.wav) がついているファイルを WAV ファイルとして再生します。

## 知識

PCM 形式は、CD などに採用されている形式で、アナログのオーディオデータをデジタル化するための手法です。

- ・記載している規格以外で書き込まれた WAV ファイルは、正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかつたりする場合があります。

## Ogg について

Ogg とは、Xiph.Org Foundation の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.ogg/.ogx/.oga) がついているファイルを Ogg ファイルとして再生します。

- ・記載している規格以外で書き込まれた Ogg ファイルは、正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかつたりする場合があります。

## MP4 について

MP4 とは、MPEG-4 Part 14 で標準化されているコンテナファイルフォーマットです。

本機は、拡張子 (.m4a) がついているファイルを MP4 のオーディオファイルとして再生します。

### **3GPP について**

3GPP とは、Third Generation Partnership Project が規格を定めているファイルフォーマットです。本機は、拡張子 (.3gp) がついているファイルを 3GPP ファイルとして再生します。

### **FLAC について**

FLAC とは、Free Lossless Audio Codec の略称で、ライセンスフリーの音声ファイルフォーマットです。本機は、拡張子 (.flac/.fla) がついているファイルを FLAC ファイルとして再生します。

## 再生可能なビデオファイルについて

### 注意

ビデオファイル以外のファイルにビデオファイルの拡張子をつけないでください。また、ビデオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なビデオファイルは次の通りです。

対応フォーマット			最大画像サイズ	最大フレームレート	CD	D V D	US B
MP4	映像	MPEG-4 AVC	1920 × 1080	60 i / 30 p	—	—	○
		MPEG4					
	音声	AAC					
		MP3					
AVI	映像	MPEG-4 AVC					
		MPEG4					
		WMP9					
		Advanced Profile					
	音声	AAC					
		MP3					
		WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2)					
ASF	映像	WMP9					
		WMP9 Advanced Profile					
	音声	WMA 9.2 (7, 8, 9.1, 9.2)					

○: 可能  
—: 不可能

### **MP4 について**

MP4 とは、MPEG-4 Part 14 で標準化されているコンテナファイルフォーマットです。  
本機は、拡張子 (.mp4/.m4v) がついているファイルを MP4 のビデオファイルとして再生します。

### **AVI について**

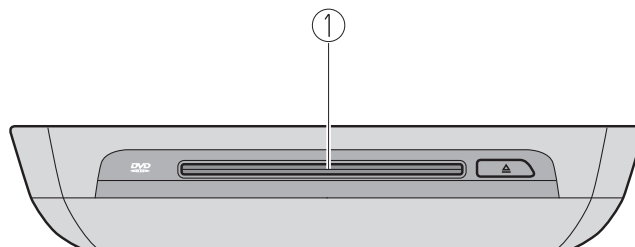
AVI とは、Audio Video Interleave の略称で、Microsoft 社によって開発されたコンテナファイルフォーマットです。  
本機は、拡張子 (.avi) がついているファイルを AVI ファイルとして再生します。

### **ASF について**

ASF とは、Advanced Systems Format の略称で、Microsoft 社によって開発されたコンテナファイルフォーマットです。  
本機は、拡張子 (.wmv) がついているファイルを ASF ファイルとして再生します。

## CD\*

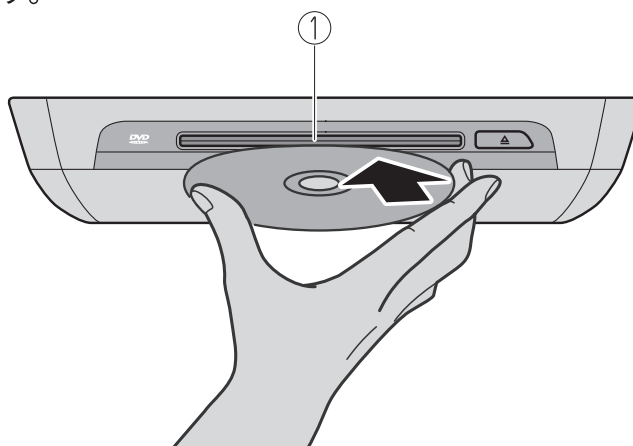
### ディスクを本機にセットする



#### 1. ディスク差し込み口

CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. ディスクのラベル面を上にして、ディスク差し込み口に軽く押し込みます。ディスクが自動的に送り込まれ、再生を始めます。



#### 1. ディスク差し込み口

## 知識

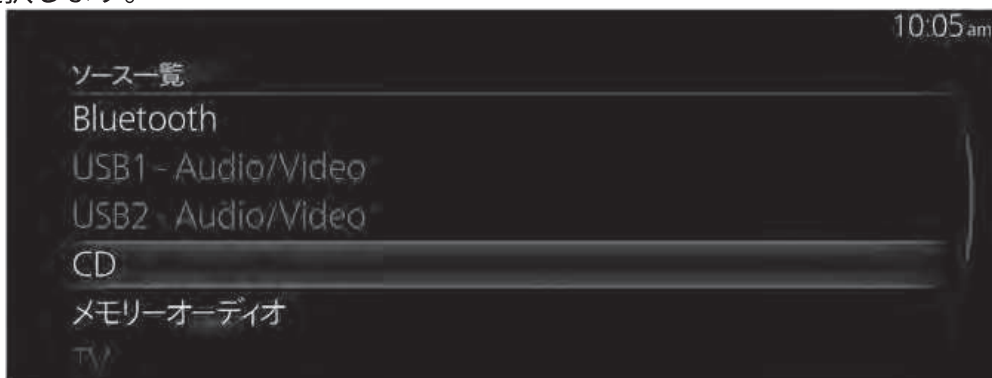
- ・ 12cmCD サイズ専用です。8cmCD (シングル) サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmCD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- ・ 曲が始まる前に、CD のデジタル信号を読み取るため、少し時間がかかります。
- ・ **(音楽 CD)**  
自動録音が無効になっているときは、CD をセットすると録音を開始します。(CX-5、CX-8のみ)

## CD 再生画面へ移動する

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “CD”を選択します。



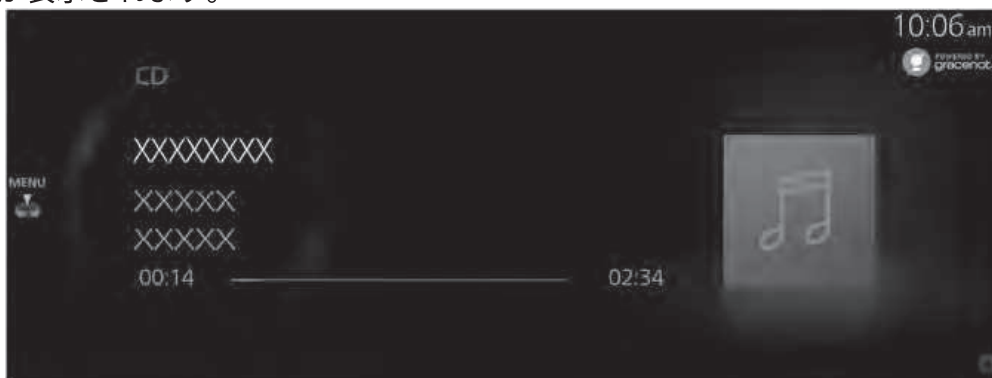
## 知識

- ・ 視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドスイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

- ・ ディスクが挿入されていない場合は、Disc と表示されますが、選択することはできません。

3. 再生画面が表示されます。



 を回して曲のリストを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

## 知識

- ・本機は CD-TEXT 対応です。CD-TEXT 対応ディスクの再生時は曲名やアーティスト名などの楽曲情報が表示されます。
- ・MP3/WMA/AAC CD では音楽ファイル作成時に楽曲情報が埋め込まれていれば楽曲情報が表示されます。

## CD メニュー



メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
プレイリスト	<b>(音楽 CD)</b> プレイリストを表示します。プレイリストから聴きたい楽曲が選択できます。
フォルダー	<b>(MP3/WMA/AAC CD)</b> フォルダリストを表示します。フォルダから聴きたい楽曲が選択できます。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は、コントロール画面 (アイコン) の使いかたを参照してください。
録音開始 (CX-5、CX-8のみ)	<b>(音楽 CD)</b> CD を録音します。 録音した曲はメモリーオーディオで再生できます。
録音停止 (CX-5、CX-8のみ)	<b>(音楽 CD)</b> 録音を中止します。
CD 設定 (CX-5、CX-8のみ)	<b>(音楽 CD)</b> CD 設定画面を表示します。 CD の録音の設定ができます。

メニュー	説明
音響設定	音質を調節します。

## 知識

- ・ 録音開始を選択すると、CD 内のすべての曲を録音します。(CX-5、CX-8のみ)
- ・ 本機に保存可能な最大容量は 8 GB、最大曲数は 9999 曲です。

### (MP3/WMA/AAC CD)

リストの上から順に再生されます。

フォルダが存在する場合は、そのフォルダの中にある曲を再生してから、次のフォルダ/ファイルリストを再生します。

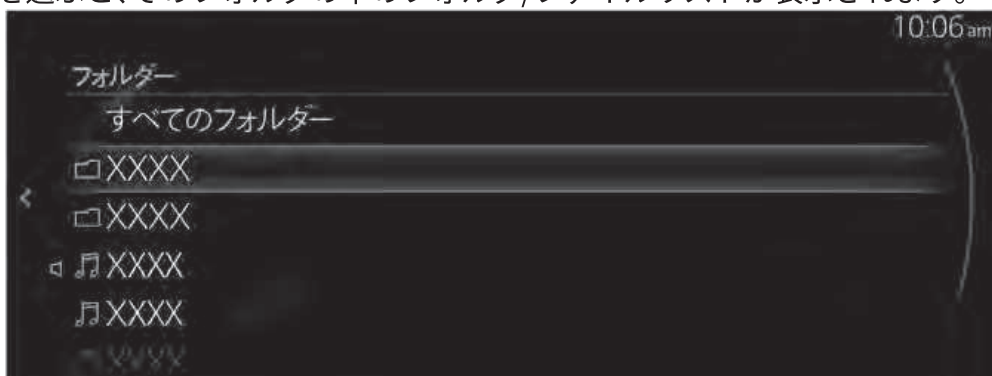
フォルダに再生可能な曲がない場合は、次のフォルダ/ファイルリストを再生します。

### 使用例 (MP3/WMA/AAC CD の一番上の階層から曲を探すとき)

1. “フォルダー”を選択して、一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。




2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ/ファイルリストが表示されます。



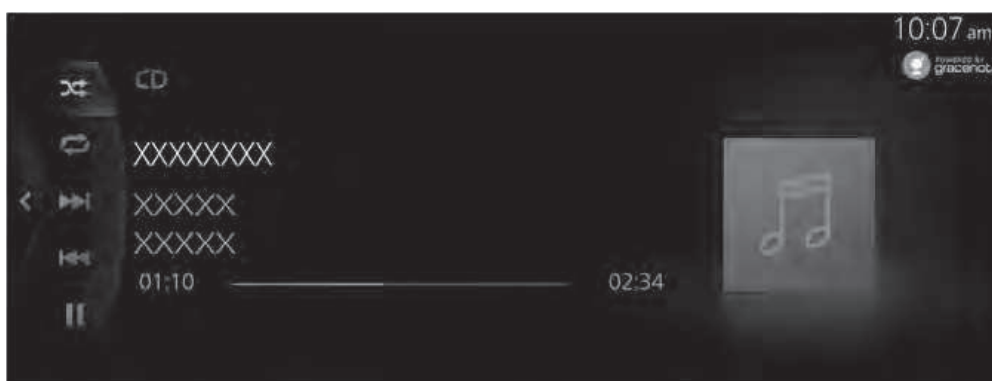
3. 聞きたいファイルを選択します。




### 知識

- ・  を左にスライドすると、一つ上のフォルダに移動します。
- ・ CD を取り出すと、CD の前に再生していたオーディオソースに移動します。

### コントロール画面 (アイコン) の使いかた



 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン		説明
		現在選択しているフォルダ内または CD 内の曲をランダム再生します。
		<b>(MP3/WMA/AAC CD)</b> すべてのフォルダ内の曲をランダム再生します。
		ランダム再生が解除されている状態を示します。

アイコン		説明
		再生中の曲をリピート再生します。
		(MP3/WMA/AAC CD) 現在選択しているフォルダ内の曲をリピート再生します。
		リピート再生が解除されている状態を示します。
		次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
		前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
		(一時停止中に選択すると) 曲を再生します。
		(再生中に選択すると) 一時停止します。

## CD 設定



CD の録音の設定ができます。(CX-5、CX-8のみ)

機能	説明
自動録音	CD 挿入時の自動録音を有効/無効を切り替えます。
選択して録音	曲を選択して録音します。
録音音質設定	録音音質を切り替えます (標準(128kbps)または高音質(256kbps))。

## CD 再生時に表示される楽曲情報について

CD/DVD プレイヤーでオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトル、アルバムアートを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します (MP3/WMA/AAC CD は、アルバムアートのみ)。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

## 知識

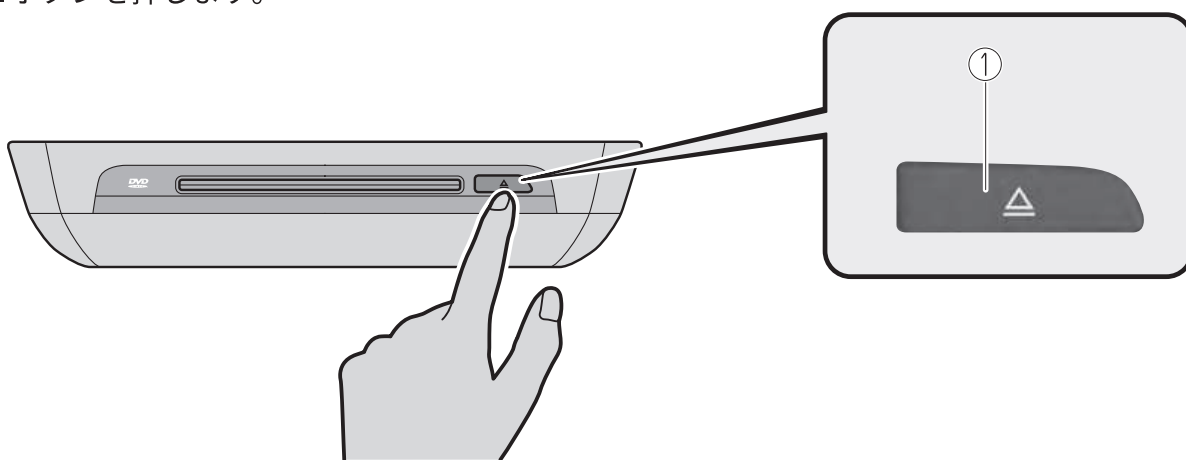
- ・ 自動で付与された情報は、実際と異なる場合があります。
- ・ Gracenote® データベースに登録がない楽曲でも、音楽ファイルに楽曲情報があれば楽曲情報が表示されます。
- ・ 音楽データの取り込み方によっては、楽曲情報が表示されないことがあります。

## データベースを更新する

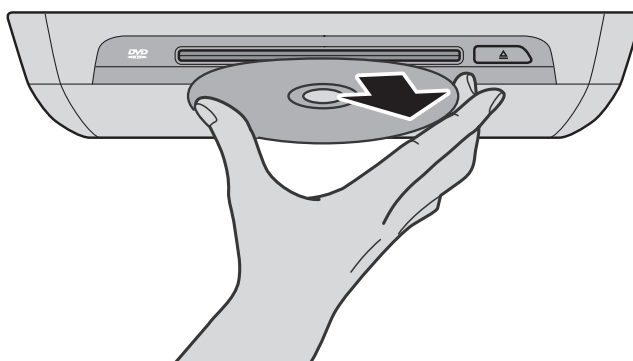
USB オーディオ機器を使用して Gracenote® データベースを更新することができます。  
システム画面から、“Gracenote データベース更新”を選択します。  
→2-33 ページ「システム」

## ディスクを取り出すとき

1.  ボタンを押します。

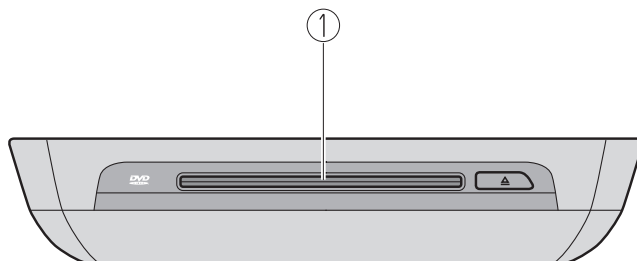


1. EJECT ボタン
2. ディスクの端を持って取り出します。



## DVD\*

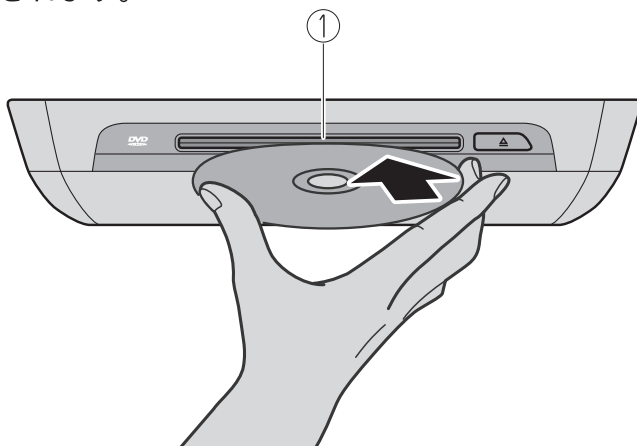
### DVD を本機にセットする



#### 1. DVD 差し込み口

CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. DVD のラベル面を上にして、DVD 差し込み口に軽く押し込みます。DVD が自動的に送り込まれ、DVD の再生画面が表示されます。



#### 1. DVD 差し込み口

## 知識

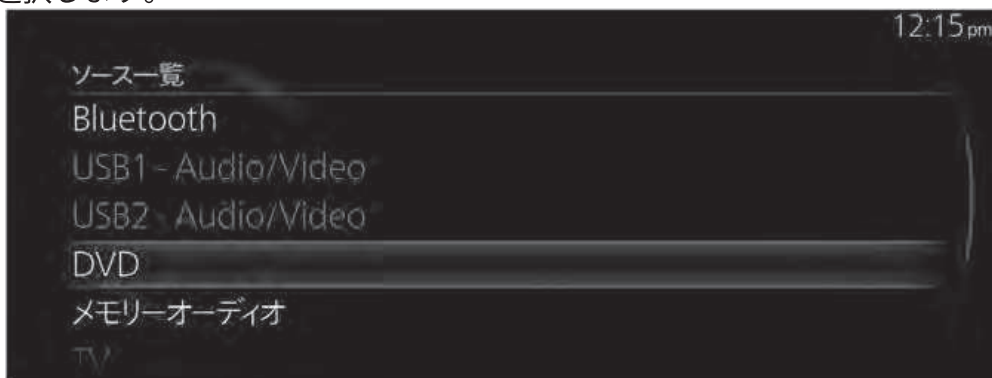
- ・ 12cmDVD サイズ専用です。8cmDVD サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmDVD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- ・ 曲が始まる前に、DVD のデジタル信号を読み取るため、少し時間がかかります。
- ・ DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW に記録された音楽の再生については、CD の項目をご参照ください。  
→ 2-15 ページ「CD」

## DVD 再生画面へ移動する

1. ホーム画面の“オーディオ”を選択します。



2. “DVD”を選択します。



## 知識

- ・視聴中のコンテンツがある場合は、“オーディオ”を選択すると、そのコンテンツの再生画面が表示されます。

再生画面でコマンドースイッチの  を押すと、ソース一覧画面が表示されます。

- ・ディスクが挿入されていない場合は、Disc と表示されますが、選択することはできません。

3. 再生画面が表示されます。




## 知識

- ・安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになり、一部の機能が制限されます。

## 知識


- ・ DVD の再生を止めた後に DVD モードに切り替えると、DVD のメニュー画面を表示せずに再生を再開します。
- ・ DVD 再生中に他のオーディオに切り替える場合、DVD は一時停止状態になります。

 を回してチャプターを表示します。

 が表示されているときに  を押してメニューを表示します。

### DVD メニュー











メニュー	説明
ソース一覧	ソース一覧画面を表示します。 オーディオのソースを切り替えることができます。
チャプター一覧	チャプターリストを表示します。チャプターリストから視聴したいビデオを選択します。
コントロール	再生画面上にコントロール画面 (アイコン) を表示します。 各アイコンの操作方法は、コントロール画面 (アイコン) の使いかたを参照してください。
カーソル操作	<b>(DVD Video)</b> DVD メニュー画面でカーソルを移動させ、コンテンツを選択します。 上下左右の矢印でお好みの位置に移動させ、 <b>OK</b> を選択します。
Disc メニュー	<b>(DVD Video)</b> DVD のトップメニューを表示します。
タイトルメニュー	<b>(DVD Video)</b> DVD のタイトルメニューを表示します。
タイトル番号入力	再生したい DVD のタイトル番号を指定して再生します。 DVD のタイトル番号を入力して  を選択します。

メニュー	説明
DVD 設定	DVD の設定をします。 詳しくは、DVD 設定を参照してください。
音響設定	音質を調節します。

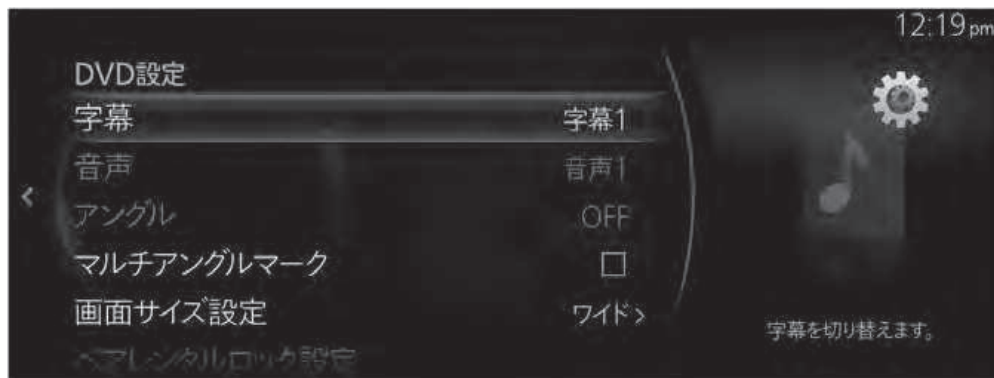
### コントロール画面 (アイコン) の使いかた




 を回して操作したいアイコンを選択します。

アイコン	説明
	次のビデオの頭に進みます。 長押しすると早送りをします。離すと止まります。
	前のビデオの頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。離すと止まります。
	(停止中に選択すると) ビデオを再生します。 (スロー再生中に選択すると) スロー再生を解除します。
	(再生中に選択すると) 一時停止します。
	ビデオをスロー再生にします。
	ビデオを停止します。
	タイトルメニューにもどります。

## DVD 設定



 を回して操作したいアイコンを選択します。

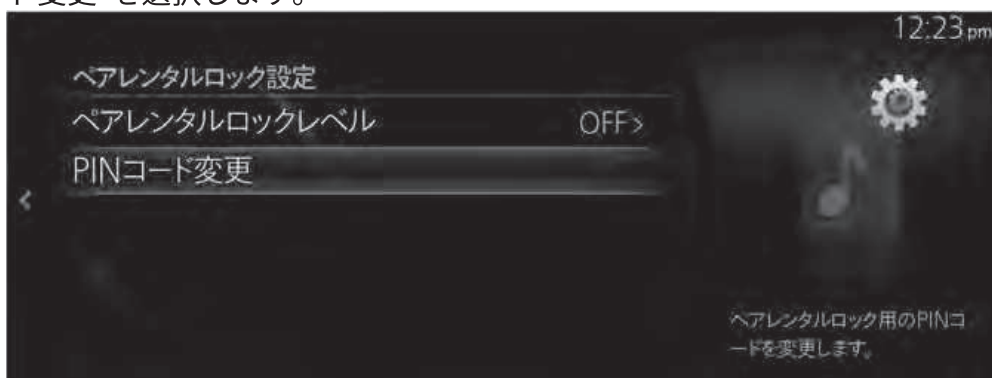
メニュー	説明
字幕	字幕の設定を変更します。 字幕の種類を選択したり、字幕を OFF にできます。
音声	音声の設定を変更します。 音声の種類を選択できます。
二重音声	<b>(DVD VR)</b> 主音声/副音声を切り替えます。
アングル	<b>(DVD Video)</b> カメラアングルを変更します。
マルチアングル マーク	<b>(DVD Video)</b> マルチアングルマークの表示の有効/無効を切り替えます。
画面サイズ設定	画面サイズを変更します。 “ワイド”/“レターボックス”/“パンスキャン”から選択できます。
ペアレンタルロ ック設定	<b>(DVD Video)</b> ペアレンタルロック設定画面を表示します。 視聴制限レベルの変更や、PIN コードの設定・変更・リセットをすることができます。操作方法は、ペアレンタルロック (視聴制限設定) を参照してください。

### ペアレンタルロック (視聴制限設定)

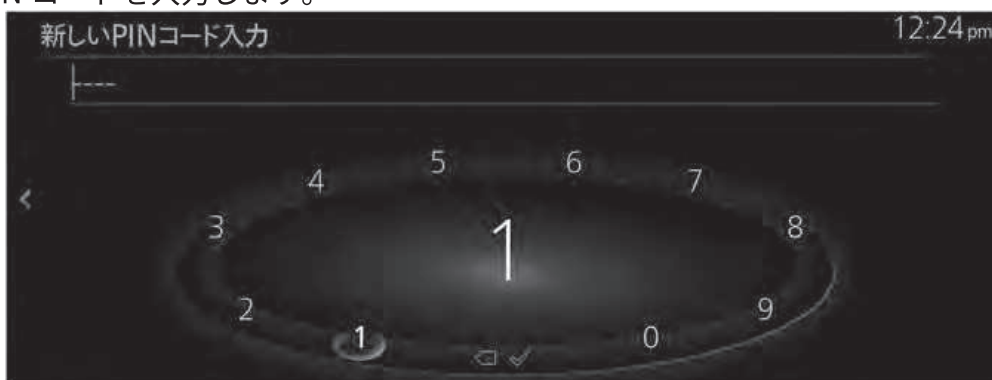
DVD には視聴制限レベルが設定されたものがあります。  
DVD の視聴制限レベルが本機側で設定した設定レベル以上の場合は、再生できません。視聴制限レベルの変更、PIN コードの設定・変更・変更やリセットをすることができます。  
ペアレンタルロック機能を使用するには、PIN コードの設定が必要です。

## PIN コード（4桁）を設定する

1. “PIN コード変更”を選択します。



2. 新しいPIN コードを入力します。

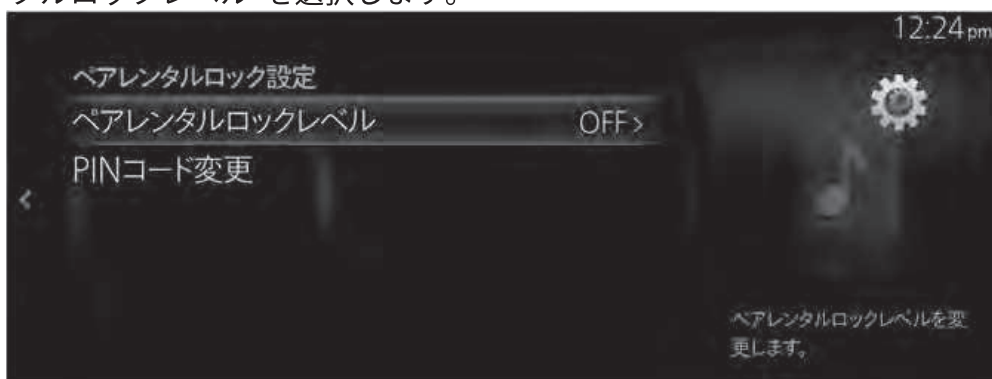


3. ✓ を選択します。



## 視聴制限レベルを変更する

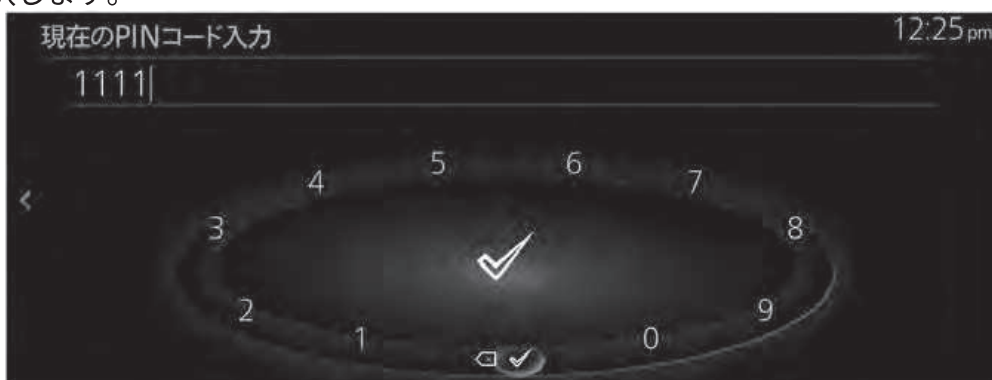
1. “ペアレンタルロックレベル”を選択します。



2. PIN コードを入力します。



3. ✓ を選択します。



4. “OFF”、または、“8 (制限レベル 低)”～“1 (制限レベル 高)”の中からお好みの制限レベルを選択します。



## PIN コードを変更する

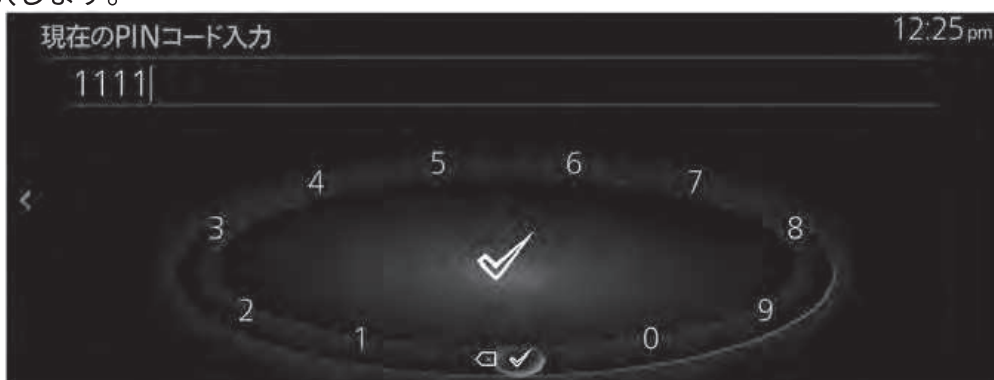
1. “PIN コード変更”を選択します。



2. 現在の PIN コードを入力します。



3. ✓ を選択します。



4. 新しい PIN コードを入力します。



5. ✓ を選択します。



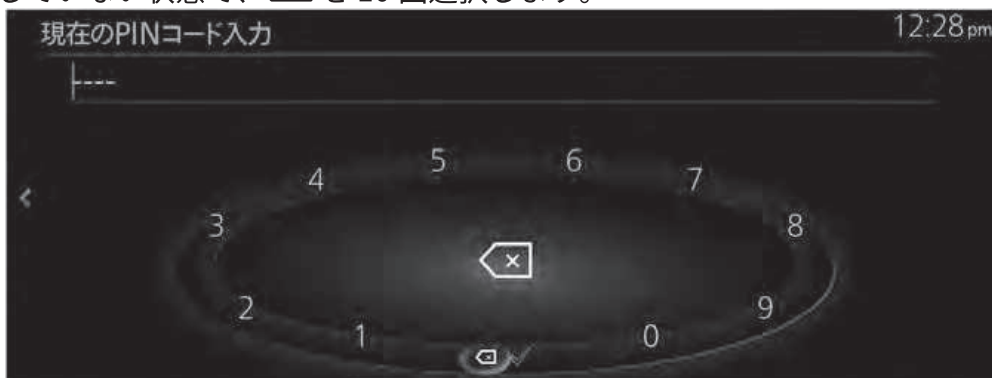
## PIN コードをリセットする

登録した PIN コードを忘れたときは、次の手順でリセットすることができます。

1. “PIN コード変更”を選択します。



2. 何も入力していない状態で、 を 10 回選択します。



## ロックされた DVD を再生する

再生しようとしている DVD が設定した視聴制限によってロックされた場合は、PIN コードを入力して解除します。

1. ロックされた DVD を再生すると、PIN コード入力画面が表示されます。



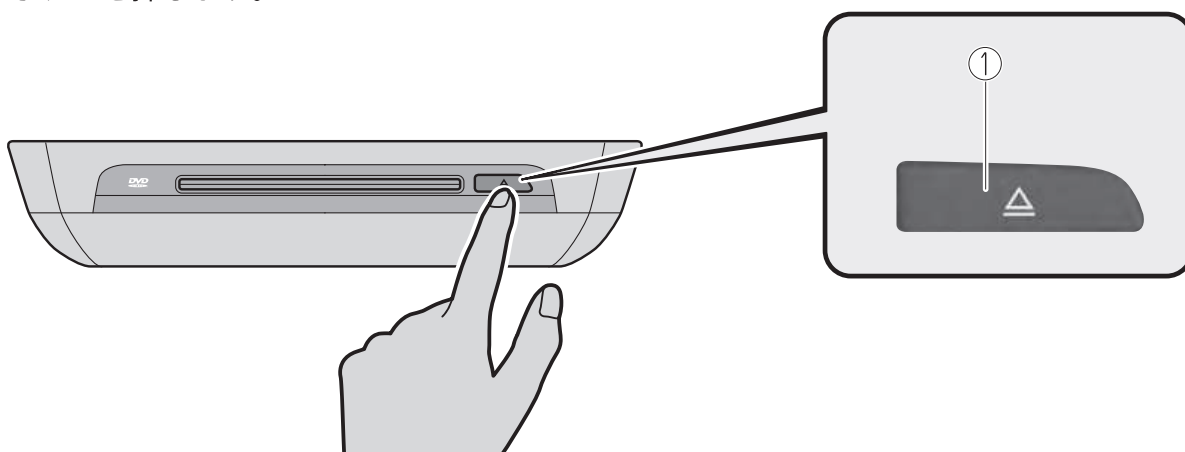
2. 現在の PIN コードを入力します。

3. ✓ を選択します。

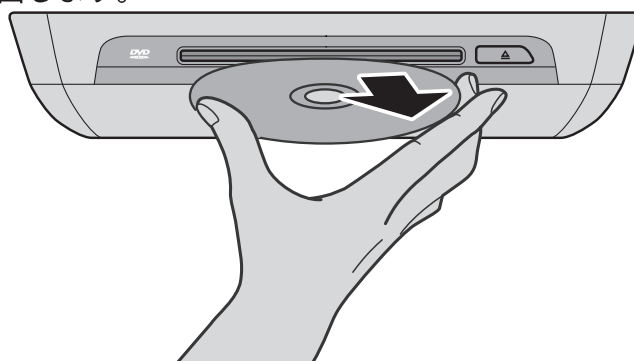


### DVD を取り出すとき

1. ▲ ボタンを押します。



1. EJECT ボタン  
2. DVD の端を持って取り出します。



## 設定

車両には、設定を変更することが可能なシステム/装備が付いており、作動などをお客様の好みに応じて変更することができます。

詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

### 知識

- ・ 設定変更ができる機能や内容は、車両の仕様により異なります。
- ・ 設定変更ができる機能や内容は、車両の利用可能な設定のみ自動的に表示します。本書に記載がある項目であっても、お客様の車両の仕様によっては変更できないものがあります。
- ・ 機能によっては、他の機能と連動して設定が変更できないものもあります。
- ・ 車両のソフトウェアのアップデートにより、設定変更の内容を予告なしに変更することがあります。

### 設定変更の方法

1. マツダコネクトのホーム画面から、“設定”を選択します。
2. 表示された内容から、設定を変更したい項目を選択します。
3. 機能の設定を変更します。

### 知識

項目にチェックボックスがある機能は、チェックを入れる () と有効、チェックを外す () と無効になります。

## システム

言語や操作などの一般的な設定をします。

### Gracenote データベース更新

Gracenote データベースを更新します。

機能	内容
更新	Gracenote データベースの更新を開始します。
履歴	Gracenote データベースの更新履歴を表示します。

### Gracenote データベース優先表示

表示するカバーアートを Gracenote データベース優先に切り替えます。

変更内容
有効、無効

### システム情報

マツダコネクトの情報を表示します。

機能	内容
製品の著作権について	ライセンス情報などを表示します。
バージョン情報	マツダコネクトのバージョン情報を表示します。

### 設定初期化

すべての設定値を初期化します。

# MEMO